

第3回教養アップ講座

講師 下関市立大学経済学部公共マネジメント学科教授 川野 祐二先生

演題 「ボランティア論—なぜ人は働くのか」

【要旨】ボランティアとは自らの意志によって動く人のことです。ボランティアの本質を見抜けば、「働く喜び」を発見できるでしょう。自らを奮い立たせ、仲間をやる気にさせる究極のマネジメントが、意欲的なチームと組織をはぐくみます。

【生徒の感想】

- 「ボランティア」というものについてあまり深く考えたことはなかったけれど、私たちが行っているボランティアについて楽しく説明していただき、とても分かりやすかったです。人はお金のためだけでは物事を続けて行うことはできない、自分の生きがいや達成感、充実感、または、周りからの感謝や笑顔などという非金銭的報酬が必要だと分かりました。
- 人はなぜ働くのか。やはり、一番大きな理由はお金がもらえることですが、その他にも、非金銭的な報酬が重要になることが分かりました。私が一番驚いたのは、お金がもらえない方がもらえる方に比べてモチベーションが高くなることで、マネジメント論では如何にそのモチベーションを上げられるかが大切になってくると学びました。経営学に興味があったのでお話を聞いて良かったです。
- ボランティアではお金は得られないけれど、逆に仕事とか他人からやらされることでは得られない達成感や充実感を得られるということに気づくことができました。人は常に非金銭的報酬のために行動をしていると聞いて、それを自覚することがモチベーションを上げることにつながるのだと思いました。
- 人が働く理由について深く考える機会もありますが、こうして考えてみるとその人の行動の理由や心情などが分かり、人は何かしらの報酬を求めていることが分かりました。先生の高校野球、就活のお話から、人はお金ではない別のもののために悩んだり、努力したりしているものなのだということがよく分かり、おもしろかったです。改めて経営学を学んでみたいと思えました。
- 自分は部活動をやっていますが、最近はその目的がよく分からなくなっていました。今日の講義で自分は友達の交流や、満足感という非金銭的報酬を感じて部活動をやっているのかなあと感じました。
- 私は今までボランティアについて深く考えたことはありませんでした。しかし、なぜお金がもらえなくても働くのかを考えると、想像以上に自分が得られるものがたくさんあって驚きました。周りの人を助けるだけでなく、自分の可能性を広げたり、人

間関係を広げたり、自分を変えたりすることもできるのだと分かりました。労働や貢献に対する報酬は、お金が全てではなく、非金銭的なものも必要であると初めて知りました。

○私は経営学部でマネジメントやマーケティングを勉強したいと思っています。今日のお話はとてもためになりました。「なぜお金にもならないのにはたらくのか？」という問いを「何が得られると期待しているのか？」に視点を変えることで意見がたくさん出たり、高校野球、箱根駅伝など実際の例もあったり、納得しました。私は約 60 人の部活動の副部長をしています。この部活動の中でも、将来働くときでも、非金銭的報酬に着目していくと新しい発見があるかもしれません。今日のお話を聞いて、さらに、マネジメントや経営学に興味が湧きました。

○人が働くのはお金をもらうためだけでなく、非金銭的な報酬を得たいためだと改めて分かりました。それは充実感であったり、達成感であったりします。このことはスポーツにも通ずるところがあると思いました。“勝利”という報酬を得るために選手は頑張っています。私は部活動でキャプテンをしていて、チームメイトを動かすことは難しいと感じていました。しかし、今回のお話を聞いて、チームメイトにチームのために頑張りたいと思ってもらえるよう私がマネジメントしていけば、もっとチームがまとまっていくのではないかと思います。

○今まで何度かボランティアに参加してきましたが、なぜお金をもらえないのに働くのかは考えたこともありませんでした。今日のお話を聞いて、お金だけが全てではないのだと思いました。何をやるにしても充実感などの非金銭的な報酬が必要でそれをどう感じるか、感じさせるかということが大切だと分かりました。部活動でも部員に何か感じてもらうようにマネジメントしていきたいです。また、家でも親に感謝を伝えてみたりして、何か感じてもらえたらいいなと思いました。